

2010年

5月1日（土曜日） - メーカーに想う丹後の原点“人間の伝統” -

今日はメーカーだ。連合京都たんごの皆さんのメーカーに来賓として参加させていただいた。丹後地域の従業者の皆さんには日ごろから信頼と友情を大切に労働環境の整備と地域産業の発展に尽力され、心から感謝を申し上げます。

現在、丹後を巡り引き続き総じて厳しい産業・経済の状況が続いており、行政も住民の皆さんの事業や雇用、生活を支援するため総力を挙げて取組みを進めているところですが、このような中、想いを致したのは、丹後の原点にある伝統だ。何といても丹後は、かつて我が国最古の製鉄コンビナートやガラス玉工場の跡があり、奈良の時代には朝廷に献上された丹後の絹織物「あしぎぬ」が現在に至るまで正倉院で大切に保存されるほど、当時として最先進の産業が栄えていた、いわば我が国ものづくりの本格的な発祥地の一つだ。

そこで改めて見つめたいことは、そんな丹後の伝統の原点から脈々と受け継がれてきた、丹後の産業人の粘り強い努力、あきらめない姿勢、そんな人間の伝統ではないかと思います。今こそ、丹後に住む我々一人ひとりが、それぞれの分野で粘り強い努力と不屈の向上心をもって丹後の産業や社会を再生・活性化へと押し上げていきたいと願う。